



松居大悟監督が10年以上に渡り温め続けてきた

“好き”を全肯定する、無防備なラブストーリー

映画『ちょっと思い出しただけ』で男女のほろ苦い恋愛模様が多く観客の共感と反響を呼び、大ヒットを記録した松居大悟監督。これまでも『くれなずめ』や『アイスと雨音』、『私たちのハアハア』等、独自の視点で数々の青春を描き、若者の圧倒的な支持を得てきた。そんな松居監督の最新作は、映画化を諦めることができず秘かに温め続けてきた10年越しの渾身のラブストーリー。原作は、「進撃の巨人」諷山創のアシスタントを経て漫画家デビューした高木ユナナの名コミック。主人公・りのを演じるのは本作が初の映画単独主演となる見上愛。唯一無二の透明感とパワフルさを兼ね備えた存在感で観客を惹きつける。りのの運命の相手を佐藤寛太、さらに青木柚、前田敦子、神野三鈴らが脇を固める。カッコ悪くても「好き」を真っすぐに伝える大切さと無防備さから生まれる純粋なエネルギーが胸を打つ、新世代の恋愛映画が誕生した。



「あなたのことが大好きですっ!!」
運命のように何度も出逢い、
想いを伝える――

運命のように何度も出逢い、
想いを伝える――

長谷部りのは、幼い頃に「運命の相手」甲野じゅんに出逢い、忘れられずにいた。中学生になったりのは、遂にじゅんと再会する。後輩で陸上選手の彼に「好き」と想いをぶつけ続け、やっと両思いになった。でも、その瞬間、彼は消えてしまった。まるでこの世の中に存在しなかったように、誰もじゅんのことを覚えていないという。だけど、高校の軽音楽部の先輩として、車椅子に乗った男性として、バイト先の店主として、甲野じゅんは別人になって何度も彼女の前に現れた。その度に、りのは恋に落ち、全力で想いを伝えていく。どこまでもまっすぐなりの「好き」が起こす奇跡の結末とは――。

undead-lovers.com X @@undeadlovers_fm #不死身ラヴァーズ

見上愛 / 佐藤寛太

落合モトキ 大関いしか 平井珠生 米良まさひろ 本折最強さとし 岩本晟夢 アダム

青木柚 前田敦子 神野三鈴

監督:松居大悟
原作:高木ユナナ「不死身ラヴァーズ」(講談社「別冊少女マガジン」) 脚本:大野敏哉 松居大悟 音楽:澤部 遼(スコット)
エグゼクティブプロデューサー:松岡雄造 菊池貞和 チーフプロデューサー:服部保彦 プロデューサー:市川均 伊藤田啓悟 柴原祐一 撮影:宮水健二
照明:杉本周士 録音:日下部雅也 整音:西條博介 美術:趙心智 編集:相良直一郎 スタylist:望月忠 ヘアメイク:寺沢ルミ 杉本あゆみ
音響効果:渋谷圭介 助監督:井木義和 制作担当:川上泰弘 ラインプロデューサー:濱松洋一
宣伝プロデューサー:向井清 筒井史子 宣伝協力:FINOR
©2024 不死身ラヴァーズ 製作委員会 ©高木ユナナ/講談社 2024 日本|カラ〜|1109/15.1.11|3D-ロビスタ|G

5.10 (Fri) Roadshow

ムビチケカード ¥1,600 (税込)

絶賛発売中! ※一部劇場除く

